

# お客様各位 元 気 通 信

・・・JRはどう見ているの？・・・

こんにちは。サーマルタンクの新洋技研です。

いきなり真夏のような暑さでびっくりしますね！これで夏本番になったらどうなっちゃうのでしょうか？さて、私は出張でよく新幹線を使うのですが、実はどうも納得のいかないことがあるのです。

一例を挙げると、上越新幹線から東海道新幹線に乗り換えるときは、自動改札じゃない。東海道新幹線は未だに車掌がこちらが食事をしていようが構わず切符を拝見、と回ってくる。そして券売機は座席を取るとき、JR東日本や西日本などは座席を表示できるのでにJR東海は空いている号車や座席を表示できずにただ窓側、通路側としか表示をしない。東日本で買った切符の変更を東海では受け付けない、新幹線の乗り継ぎで一番後ろの席を希望するのに、いざ乗ってみたら一番前の席だった、などなど、納得のいかない思いをした人は少なくないのではないのでしょうか。

分割民営化でJRは北海道、東日本、東海、西日本、四国、九州、貨物の7社に分かれました。

民営化となれば、当然利益を出していかねばなりませんよね。少しでも付加価値をつけようと、それぞれがサビスの向上を目指して独自に展開をしていることは確かです。国鉄時代とはまるで様相が変わっていることは事実だと思います。しかし、果たして本当に利用する人のほうを向いているのかな？と思えることが、先に挙げた例のように、結構あります。(特にJR東海はドル箱路線なので、唯我独尊的傾向が少々強いように感じます。)

線路は日本全国どこでもつながっていますし、それを利用するお客様は、各社の縄張りなど関係ないわけですし、そこは民営化されたといっても他とはわけが違いますから、オリジナリテイは結構ですが、せめて各社の路線を乗り継ぐ時にストレスを感じさせないでいただきたいものです！

しかし最近駅弁がとてもバラエティに富んで美味しくなってきたのは嬉しいです！(色気より食い気?)

## 日本の野鳥シリーズ

### 小千鳥親子は役者

技術営業部 佐藤 弘

故意であれ知らずであれ、巣に近づくヒトを追い払おうと攻撃する鳥がいる。ご存知カラスの他にも、タカやフクロウは決まってヒトの背後から頭を狙ってくるというから、頑丈かつ注射針なみに鋭い爪で耳たぶや首をやられそうで怖い。

一方、何の武器もないコチドリは変わった反応だ。ダラリと下げた翼端を引きずりながら足元に来てバタつくから、これは簡単に手掴みできそうだと夢中で追い回す内に、突然パッと飛び去る。「何だ何だ？今のは」という具合。敵の関心を一身に引きつけて巣から遠ざける捨て身の演技だ。私は悪ガキの頃まんまと引っ掛かり全く理解できなかったが、長じてこれは怪我したふりをする擬傷と呼ぶチドリなどの習性と知った。

碎石を敷いただけの仮設駐車場でコチドリが擬傷をやるので、入念に探すと保護色の卵が4個あった。度胸がよすぎる。車そのものを擬傷で騙せる動物とでも認識しているらしい。管理者了解のもと10台分程の広さをロープで囲った。利用者には、南方での越冬から戻った小さな居候がいるが、気付かぬふりをして繁殖を成功させて欲しい旨、回覧を廻した。

2週間程後の朝、親の翼から小さな頭が見え隠れするので、巣を覗くとヒナが3羽孵っている。保護色のヒナは地べたに伏せ、目もつぶり小石に化けていた。内側が白く目立つ卵の殻は親鳥が遠くへ捨てたようだ。4羽目も無事に孵化し昼には巣は空っぽだった。身を隠す草むらに親鳥が速やかにヒナを誘導したのだろう。4日かけて産んだ4個の卵がほぼ同時に孵化するのは、最後の卵を産んでから温め始めるからだ。仮に毎日1羽ずつ孵るなら給餌と抱卵、つまり動と静、この時は何故か終始1羽しか見なかった親鳥の世話は行き届かないだろう。はて、もう1羽の親は千鳥足でどこをのたくっているのか？

さて、川原や浜辺で擬傷をやる鳥が突然皆様の前に現れたら、鳥との共演など滅多ない機会だから、そこは一つ騙されたふりをしてお芝居の悪役を演じてみることをおすすめする。帽子を振り回したり「待て、このオ」などセリフが入るとなおよろしい。悪賢いカラスがどこかで注目しているかもしれないので、卵やヒナは探さないで頂きたい。

## 酒蔵さんとの長ーいおつきあい

第 21 話

取締役会長 大辻 英郎

私は酒造りに従事したことは無いが、酒造りの喜びは及ばずながら知っているつもりでいる。そして毎晩欠かすこと無く飲む酒は、時には喜びの酒になり時には迷い苦しみを一杯の酒に解決策をゆだね、何とかなるさと寝てしまう。深い眠りのあと夜中に目を覚ましヒントを得て、助けられたことは幾度もあった。この齢になると多くは飲めないが味わいは益々深まるばかりで、その酒を造られた蔵元のいろんな姿を思い出しながら楽しんでる。

ある時はタンクの中でわきいづる不思議な泡立ち、真剣な造り人の顔、そして自信に満ちた面立ち、満面の笑顔、ふな口からほとぼしる新酒の照り輝き、その香り。蔵のなかは活気に満ち、やがて壇詰され、レットルも晴やかに姿を現す。

親しい友、お世話になった方々とほどよいお燗酒を酌み交わす。これが日本の文化であろう。日本の文化を担う日本酒、そこに美しい顔、美しいきもの、美しい声と音曲があれば最高の気分。どうか、ご自分の自信作を醸して私等を楽しませて頂きたいと切にお願いいたします。

近年アルコール飲料を悪者のごとく扱う風潮がみられるのは悲しい限り。きっと安きに流れた因果応酬に違いない。日本の文化を護り続ける為、量ばかりでなく質にこだわって頂きたい。

次号につづく

## エッセイ

## 初夏の大風合戦

新潟県白根市（現在の新潟市南区白根）

生産資材主任 島貫 修一

ピッピッピーと笛が響く中、ハッピーを着た若者達が綱を持って堤防の上を走ると、風を受けた大風がゆっくりと上昇して行く。対岸を見ると対戦相手の大風が同じ様に空に浮かんでおり、今年も大風合戦が始まった。堤防の上では「どけどけー、引けー、止まれー、戻れー」と叫び声が飛び交う中、巧みな綱さばきで二つの大風は中之口川の上で絡み合いそのまま水に落ちた。さあこれからが本番だ。本当の合戦は川を挟んで互いに綱を引き合って相手の綱を切ることで、風揚げはそのための前哨戦に過ぎない。川の中央に浮かぶ風の残骸？から両岸に伸びた綱は、堤防を越えて道路を横切り路地の奥まで入って行く。「綱を引くのを手伝ってください、力を貸してください」の声に応え、他の観客と共にハッピー集団（正式には組）に混ざって綱をつかんで構える。秒読みの後の「引けー」の号令に合わせて力いっぱい綱を引き1m程引いたが、直ぐに川向こうの相手の力でズズズーと戻される。引いては戻されまた引いては戻されと一進一退を繰り返していたら、「休憩！」の声で綱を置き一休み（2分間引いたら3分間休むそう）。3分後、秒読みと「引けー」の号令で戦闘再開。こんどは互いに引き合い綱はぴんと張ったままで動かない。全身の力を込めてふんばっていたら、突如後ろに放り出されるようにしりもちをついた。綱が切れたのだ。そして「負けた」の声が聞こえ、「お手伝いありがとうございました」「残念だったね」と言葉を交わしながら堤防の上に戻った。

観客として見物するだけでなく気軽に参加し、初対面の者同士が声を掛け合い力を合わせるこの楽しさを感じた。負けたのは残念だったが来年も参加したい。

### ◆ ちょっと豆知識 ◆

技術営業部 成田 護

シーズンのはじめ、圧搾機による「袋香」には皆さん頭を悩ませていらっしゃるものと思います。

新潟県白瀧酒造の山口杜氏さんから、この袋香への有効な対処法を教えてくださいましたのでご紹介いたします。ネオクリーン原液を200倍に希釈し、もろみを上槽出来る状態にした圧搾機の酒出口から、ポンプでネオクリーン希釈液を注入します（もろみ入口からオーバーフローするまで）。準備する液量の目安は、200段の圧搾機で2,500L程度。そのまま2,3日放置した後に、ネオクリーン希釈液を排出し、通水してすすぎます。その後時間を置かず上槽に使用します。

この方法で、白瀧酒造さんではここ数年袋香のトラブルはないとのこと。お正月に上槽を休む際も同様の処理を施していらっしゃるそうです。

白瀧酒造さんでは以前塩素系の薬剤をお使いになっていたようですが、お酒への臭い移りが気になって使用をやめられたとか。他の薬剤に比べてネオクリーンは少々高価ですが、このご時世、異臭等で製品回収等のトラブルになった時のことを考えれば、決して高過ぎるということはない、と山口杜氏さんはお話してくださいました。

少々気の早いお話でしたが、皆さんもこの機会に是非「ネオクリーン」をご検討ください。

詳しい資料等をご希望の方は弊社までご連絡ください。



### ☆☆豊かに成功する ホ・オポノポノ☆☆



—愛と感謝のパワーがもたらすビジネスの大転換—

ハワイの伝統的な問題解決法「ホ・オポノポノ」の継承者、イハレアカラヒューレン博士と私の友人である河合政実さんの共著です。発売前よりAmazonにおいてビジネス書部門や自己啓発書部門において上位にランクされ、発売と同時に完売という状況となり、慌てて増刷したとのこと。

全ては自らが源・・・世の中に起きていることはすべてが自分の過去の情報の再現であり、その情報を消去しゼロの状態になるとインスピレーションがやってくる。ホ・オポノポノの世界を一度ご覧ください。発行所：ソフトバンククリエイティブ社